

日本海における波浪推算モデルを用いた海上・潜水作業可否の予測精度

森屋 陽一¹⁾, 琴浦 毅¹⁾, 関本 恒浩¹⁾

Examination of Wave Prediction Accuracy for Marine Works in the Sea of JAPAN

Yoichi Moriya¹⁾, Tsuyoshi Kotoura¹⁾ and Tsunehiro Sekimoto¹⁾

■ 要 旨 ■

日本海側に着目して、波浪推算モデルを用いた1日先、3日先、7日先の波浪予測を実施し、海上・潜水作業可否に着目して、NOWPHAS(全国港湾海洋波浪情報網)の観測結果と比較することで、波浪の予測精度を明確にすることを目的とした。また、予測精度に及ぼす格子サイズの違いや予測時間の影響を明らかにするとともに、金沢港内での実際の浚渫工事の作業実施状況と波浪予測結果を比較から、波浪予測の実務への適用可能性を確認した。

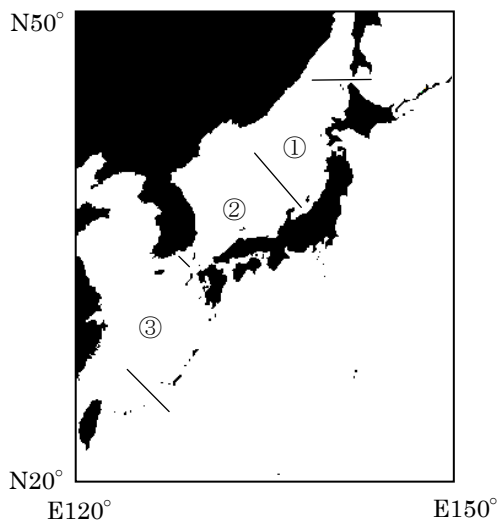


図-1 計算領域図

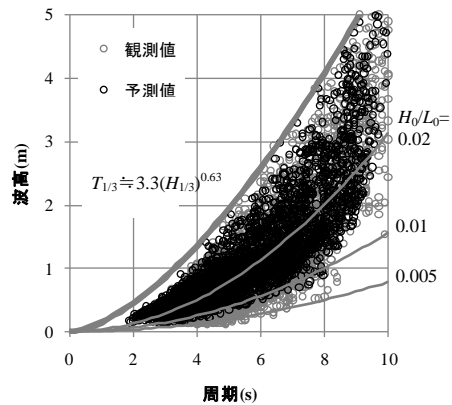


図-2 金沢港の波高と周期の相関

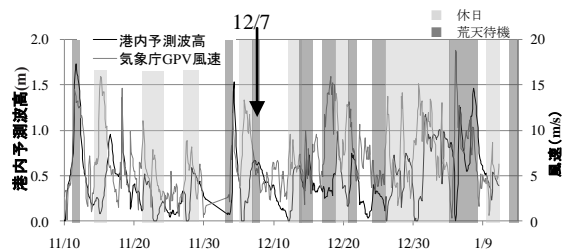
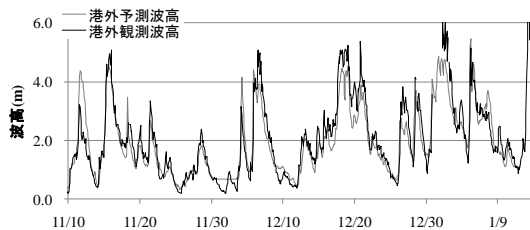


図-3 観測値と予測値、荒天待機期間との比較

1) 技術研究所

* 海洋開発論文集, 第 26 卷 (2010) 土木学会, pp447-452 掲載